

## 俳句のまち 江東へようこそ

いざ!俳句の世界へ「奥の細道サミット」講演会開催 **12/5(土)**



古池や  
蛙飛び込む  
水の音  
松尾芭蕉

松尾芭蕉(1644~1694)  
 深川の芭蕉庵で多くの俳句を作成。  
 「おくのほそ道」の旅も深川から出発しました。区内には今なお芭蕉ゆかりの史跡が多く残されています。



雀の子  
そのけそこのけ  
御馬が通る  
小林一茶

小林一茶(1763~1828)  
 江戸後期の俳人。大島に住んでいました。大島愛宕神社には「雀の子そのけそこのけ御馬が通る」の句碑が建てられています。



はこべらや  
焦土の色の  
雀ども  
石田波郷

石田波郷(1913~1969)  
 昭和の俳句の第一人者。砂町に住み区の様子を俳句にするとともに「江東歳時記」を著しました。砂町文化センターには「石田波郷記念館」があります。

江東区は多くの俳人にゆかりのある地域であり、俳句とのかかわりが深いまちです。季語を入れた5・7・5の17音からなる「世界で一番短い詩」といわれる俳句は、和歌をルーツとして室町時代に生まれ、庶民の間で広く親しまれるようになりました。江戸時代に入り、松尾芭蕉の登場により俳句が文学として確立されたといわれています。

### 季節や自然の様子、その変化を感じて(心の中で)俳句を詠んでみませんか **入門編**

俳句を作るのは難しいと思いませんか?基本形が分かれば俳句を作るのは難しくありません。2つのステップで簡単に詠むことができます。

**俳句の基本形** 季語 + 叙述 + テーマ ※順序が逆になることもあります

冬の季語(俳句でいう冬は立冬(11月7日ごろ)~節分(2月3日ごろ)までを指します)

- ・冬至 ・大晦日 ・雪 ・冬将軍 ・木枯らし ・七五三
- ・クリスマス ・除夜の鐘 ・豆まき ・こたつ ・落葉
- ・雪だるま ・風邪 ・焼き芋 ・おでん ・山茶花 など

①テーマ・叙述を考える  
 何についての俳句を作るか、まずはテーマを決めます。そしてその時の出来事や気持ちを思い返してみ、思い出したことを「叙述」のところにに入れてみましょう。

②季語を取り合わせる  
 考えたテーマ・叙述にどのような季語が似合うかを「歳時記※季語を集めて分類した書物。季語はインターネットでも調べられます」から探します。どのような季語を取り合わせるかで作者の気持ちをうまく伝えることができます。



### “俳句についてもっと知りたい” 芭蕉記念館・石田波郷記念館へ!

**芭蕉記念館(常盤1-6-3) ☎3631-1448、FAX3634-0986**  
 松尾芭蕉をはじめとする俳句文学関係の各種資料をご覧になれます。  
**[開館時間]** 展示室 9:30~17:00  
 (入館は16:30まで)  
**[休館日]** 第2・4月曜  
 (ただし祝日の場合は翌日休館)  
**[入館料]** 大人200円、  
 小中学生50円



**石田波郷記念館(北砂5-1-7砂町文化センター2階) ☎3640-1751、FAX5606-5930**  
 波郷の俳句文学活動、その生涯などを寄贈された遺品・作品を中心に展示紹介しています。  
**[開館時間]** 9:00~21:00  
**[休館日]** 第1・3月曜  
 (ただし祝日の場合は開館)  
**[入館料]** 無料



### 奥の細道サミット in 江東 —芭蕉の遺したもの これからの俳句—

「おくのほそ道」紀行ゆかりの自治体等が連携して、芭蕉翁の業績を顕彰し、地域文化の活性化に結びつけようと始まった「奥の細道サミット」が今年、江東区で開催されます。「講演会」「サミット開催記念ぐるっとスタンプラリー」「関連展示」等を実施します。

**12/5(土) 講演会「奥の細道サミットin江東」**  
**トークショー**

**時** 12/5(土)14:30~16:30 **場** 深川江戸資料館(白河1-3-28) **人** 80人(申込順) **費** 無料 **内** 上映会「俳句のまち江東~芭蕉、一茶、波郷の暮らした街」、トークショー  
**[司会]** 岸本葉子(エッセイスト/NHK俳句司会者) **[出演]** 長谷川権(俳人/評論家)、  
 ドーグル・J.リンズィー(俳人/海洋生物学者) **申** 11/16(月)9:00から電話で奥の細道サミットin江東実行委員会(文化観光課文化財係) ☎3647-9819、FAX3647-8470  
 ▲長谷川権さん ▲ドーグル・J.リンズィーさん  
 ※「サミット開催記念ぐるっとスタンプラリー」・「関連展示」の詳細は次号のこうとう区報(11/21号)をご覧ください。芭蕉記念館にお問い合わせください ☎3631-1448、FAX3634-0986

